

2015 米国薬学会年会にてポスター発表

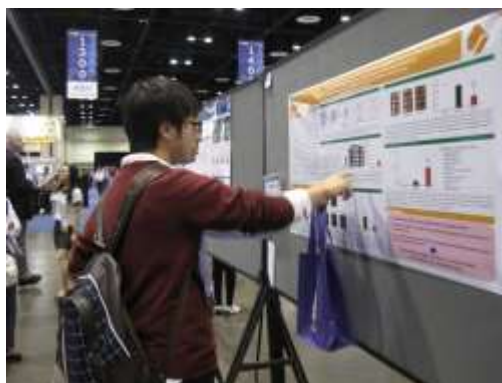
2015年10月25日から29日に米国フロリダ州オーランドで開催された2015 AAPS Annual Meeting and Expositionに参加した。

本学会には、アメリカをはじめとするカナダ、中国、日本など世界各地から学生や研究者が参加しており、世界中で行われている最先端の研究をはじめ多くのことを学ぶよい機会となった。

私は脳梗塞後の予後改善を目指した研究を行っており、その成果を「Ifenprodil 内封リポソームの脳虚血再灌流障害治療への応用」というタイトルでポスター発表を行った。

ポスター発表では、他国の学生や企業の方と多くのディスカッションを行うことができたが、今後研究を進めていくうえで重要な要因となってくると思われる英語をより一層勉強しなければいけないと実感できる機会でもあった。自身の英語力にさらに磨きをかけ、グローバルに活躍できる研究者を目指したいと思う。

本学会での発表は非常に有意義な経験となった。このような発表の機会をいただけたことに心から感謝すると同時に、今後の研究や学会発表への意欲がさらに高まった。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 医薬生命化学教室
博士前期課程2年 菊地 隆司